

# 広報川市町誌

昭和61年

7月10日

第600号

## 昭和61年度予算(一般会計)

昭和61年度の町の一般会計予算は49億8,419万4千円。3月議会で成立した特別会計と事業会計を加えた予算総額は、78億6,061万6千円。この膨大な金額が29,900人の町民の生活に深くかかわりながら、町を変えていきます。(下記は今年度の主な事業)

とじて保存しよ

### ◆総務費

遠賀川河川敷利用計画策定委託料	22,000千円
道中広域組合事務所費負担金	23,222千円
庁舎車庫棟建設工事	4,718千円
選挙費(参議院)無知事・県議	9,333千円
統計調査費・工業統計費	1,028千円

### ◆民生費

生活困難者世帯扶助事業	88,095千円
国民健康保険会計繰出金	200,000千円
学習等供用施設運営事業	12,190千円
同和対策事業	7,988千円
重度心身障害者医療対策事業	16,399千円
身障者福祉センター運営事業	2,165千円
老人福祉対策事業	40,581千円
老人憩の家運営事業	20,871千円
母子寮運営事業	22,515千円
保育園運営事業	168,417千円
乳幼児医療対策事業	25,830千円
母子家庭等医療対策事業	10,488千円

### ◆衛生費

休日休館センター運営事業	5,419千円
予防対策事業	22,342千円
公衆浴場運営事業	7,009千円
健康づくり推進事業	8,885千円
老人保健事業	67,936千円
清掃事業	269,400千円

### ◆労働費

失業対策事業	37,559千円
特需事業	182,239千円
1 大下・井地回廊	
2 野間・迎線	
3 三反間・寺三塚線	

### ◆農林水産業費

農業委員会費	2,863千円
農業振興対策事業	22,888千円

### ◆商工費

商工業振興対策事業	4,245千円
-----------	---------

### ◆土木費

交通安全施設整備事業	7,500千円
道路維持補修事業	26,760千円
道路新設改良事業	178,343千円
1 丸の西・五反五歩線	
2 御輪地機架設替え	
3 野奈・西輪地線	
4 生活道路舗装	
防衛施設周辺事業	20,894千円
(猪熊・机原舗装工事)	
河川維持補修事業	43,560千円
公園費・緑化費	40,214千円
公営住宅管理事業	22,106千円
改良住宅管理事業	111,342千円

### ◆消防費

広域消防組合負担金	158,885千円
消防ポンプ自動車購入費外	12,959千円

### ◆教育費

同和教育事業	14,518千円
小学校管理費	184,893千円
中学校管理費	63,473千円
給食事業	110,229千円
小・中学校防音サッシ取替工事	45,000千円
社会教育活動事業	26,430千円
公民館活動事業	20,984千円
中央公民館建設事業	594,220千円
保健体育振興事業	7,692千円
体育施設維持管理費	21,302千円

### ◆災害復旧費

被害復旧事業	289,696千円
1 丸ノ西・五反五歩線	
2 新池下・村下線	
3 家屋復旧13戸	

# 昭和61年度一般会計予算 49億8,419万7千円

明るい町づくり予算です  
みなさんよく見てね



【その他の内訳】

- ① 分担金及び負担金……5,286万4千円
- ② 財産収入……2,961万円
- ③ 繰越金……4,000万円
- ④ 寄付金……2千円
- ⑤ 地方課与税……5,000万円
- ⑥ 自動車取得税交付金……4,700万円
- ⑦ 交通安全対策特別交付金……450万円

## 歳入

### 地方交付税の伸び

わずか〇・八割

六月定例議会、昭和六十一年度の一般会計の本予算が決まりました。今年度の予算額は、四十九億八千四百十九万七千円と前年度に比べ八割(三億六千八百七十八万五千円)の増加となっています。これは、中央公民館の建設によるものです。予算編成に当たっては、「最小の経費で最大の効果を」ということを基本に、経常経費の節約と文教、福祉、生活環境、コミニティ施設などの充実を目指し、限りある財源の効率的な配分に努めています。それでは、その内容を具体的にみていきましょう。

比べ〇・八割増の十三億四千万円と、わずか千円内の増収を見込んでいます

⑥ 国・県支出金は、一億四千八百三十八万二千円の内増となつてい

ます。これは、道路改良事業(三千三百万円)、公園事業費(四百万円)、防音事業(小窓採取事業(三百百万円))、中央公民館建設(九千万円)に対する補助金が主なもので、国の補助率の引き下げによる影響は、引き下げ前の五十九年度をベースと比較すると約六千八百万円の内減収が見込まれます。

⑦ 繰入金金は、前年度に比べ一億九千四百九十万円の内増で、これは全て中央公民館建設に伴う財源として庁舎等建設準備基金の取りくずしです。

⑧ 諸収入は、前年度に比べ八千二百九十七万円の内減で、これは銃害復旧事業の減少による国・県の補助金、銃害復旧事業団からの負担金が減少したためです。

⑨ 町債(町の借金)は、前年度に比べ八千四百九十万円の内減です。このように、町債が前年度と比べ二四・六割と大幅に減っています。これは、建設事業などを進める際、その資金を安易に借入に頼ることなく、国や県の補助金などを活用できるだけ有効に活用するよう努めているためです。その結果、国庫支出金は、前年度に比べ三八・九割、県支出金は、一六・四割といずれも大きな伸びを示しています。

増を見込んでいます。本町の所得構造からすると八割の増収が一杯の見込みで、前年度の決算見込に比べ二・八割の増収に止まると思われま

す。地方交付税は、前年度当初に

明るく健康な

うるおいのある

町を目指して――。

昭和61年度の

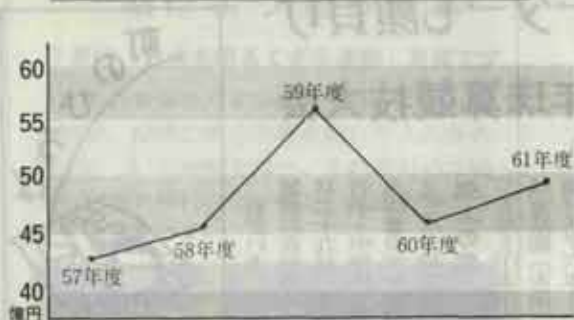
町づくりが

スタート!

さて

今年度の予算内容は――。

過去5年間の一般会計予算の推移



町民ひとり当たり  
166,323円の使いみち  
(昭和61年3月末入口)

議会費 4,533円	総務費 21,590円
民生費 20,643円	衛生費 14,353円
労働費 8,248円	農林水産費 1,954円
商工費 660円	土木費 18,168円
消防費 6,391円	教育費 38,837円
災害復旧費 9,667円	公債費 20,776円
その他 503円	

【その他の内訳】

- 議会費……………1億3,583万6千円
- 農林水産業費……………5,856万6千円
- 商工費……………1,978万4千円
- 消防費……………1億9,153万4千円
- 予備費……………1,500万円

歳出  
中央公民館  
十月に完成

歳出は、公共施設の建設や道路の整備、災害復旧などの投資的経費と、人件費の物件費、扶助費などの消費的経費、それに町債の返済のための公債費などから成っています。

その内今年の予算ですが、投資的経費には歳出総額の三〇・五割に当たる十五億千八百八十四千円を投入し、中央公民館の建設や生活道路、災害復旧、教育施設の整備を行います。次に目的別に見てみましょう。

☆総務費の中には、通賢川河川敷の利用計画策定委託料や衆・参議院議員選挙費などが新たに計上されています。全体としては前年度に比べ六百五十七千円の減となっています。

☆民生費は、前年度に比べ四千九百七十四万四千円増と伸びています。これは、国民健康保険事業会計への繰出金(二千円)、八山荘の屋根防水工事費の計上などによるものです。

☆衛生費は、し尿処理施設費負担金が三千八百円増えた反面、ごみ処理施設費負担金が七百二十九万五千円と大幅な減となり、全体としては、前年度に比べ四百五十六万四千円の内減となっております。

☆労働費は、失業者の雇用を図るための事業を行うもので、前年度に比べ三千六百三十一万四千円増の予算を計上し、①大下・井地間線③三反間・十三塚線④野間・迎線の道路整備を行うこととしておられます。

☆農林水産業費は、前年度に比べ千九百七十九千円の増で、農業用水管布設工事費の計上などによるものです。

☆商工費は、前年度に比べ四一・八割減と大幅に減少していますが、これは、商工会館の完成による建設助成金の減少によるものです。

☆土木費は、前年度に比べ一億九千四百円と大幅に伸びています。これは道路新設改良費、公園費、公営住宅管理費の増加や、防衛施設周辺民生安

定事業(猪熊・八機舗築工事)、鯉淵排水場管理費、緑化推進費の新しい予算計上などによるものです。

☆消防費は、消防ポンプ自動車を購入(第一分団)し、機動力の強化を図ります。全体としては、第三分団格納庫建設工事の終了などにより、前年度に比べ千八百七十九千円の減となっています。

☆教育費は、前年度に比べ三億千二百七十七万二千円と大幅に伸びています。これは、中央公民館の建設費、八小学校防音サッシ取替工事費などの増加によるものです。

☆災害復旧費は、災害復旧を行うためのもので、今年度①丸ノ西・五反五少線②新池下・村下線③家風(13戸)の復旧を行います。全体としては大平下水道災害復旧工事の終了などにより、前年度に比べ九千九百七十三万三千円の減となっています。

☆公債費(借金の返済金)は、前年度に比べ三・三割、千九百七十七万八千円増加しております。



真剣な表情で算盤に向う4年生

# コンピューターも顔負け 青少年珠算競技大会

ねがいましては——パチパチと算盤の音が軽やかに響きます。六月二十九日、町民会館に百二十人の小・中学生が参加して、第二十八回青少年珠算競技大会が開かれました。結果は次のとおり。

### 個人の部

- ▽五年—①木田百合(美吉野)②成重基樹(吉田二)③松山史(猪熊)
- ▽六年—①宇野沢亮(吉田一)②白武智美(吉田一)③恒広恵里(二町住)
- ▽中学—①宮原麻



司(吉田団地)⑨吹田延夫(みすほ)⑩真鍋さおり(みすほ)

### 団体の部

- ▽四年—①吉田二②吉田団地③みすほ団地
- ▽五年—①美吉野団地②吉田三③猪熊
- ▽六年—①吉田一②吉田団地③吉田二
- ▽中学—①みすほ団地②猪熊A③猪熊B
- ▽リレー競技—①猪熊②みすほ団地③吉田団地
- ▽地区聯合—①みすほ団地②吉田団地③猪熊

### 続上算の部

- ▽小学生—①宇野沢亮(吉田一)②古川泰弘(美吉野)③森雅美(吉田一)
- ▽中学生—①吹田延夫(みすほ)②賀屋憲司(吉田団地)③山田愛(猪熊)
- ▽小学生—①宇野沢亮(吉田一)②古川泰弘(美吉野)③森雅美(吉田一)
- ▽中学生—①吹田延夫(みすほ)②賀屋憲司(吉田団地)③山田愛(猪熊)

## 井上保さんが優勝

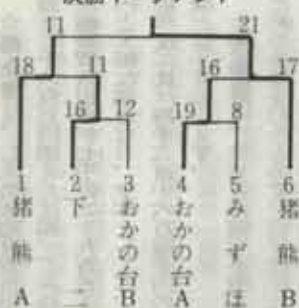
### 郡弓道選手権大会

精神を統一して射を射る——本古代の武術・弓道の選抜選手権大会が水巻町の勤労者体育センターで開催され、この大会に有数の部で出場した井上保さん(隈木)が、十射競技で八本命中して見事優勝しました。

## 健康ゲートボール大会

17チームが熱戦、猪熊B優勝

### 決勝トーナメント



お年寄りの健康増進を図るため、水巻町健康づくり推進協議会主催のゲートボール大会が六月二十七日、町営グートボール場で開かれました。参加十七チーム、三コートに分かれそれぞれのコートでの二位までのチームが決勝戦に進出。今年は猪熊どしし



元気にプレーするお年寄りたち

## 猪熊ママが優勝

ママさんバレーに13チームが熱戦

はいトリス、アタック。館内はお母さん達の迫力で熱気むんむん。雨が降り続き、うっとうしい日となった六月二十二日、町民体育館ではお母さん達が集まりバレーボール大会が開かれました。今年はず十三チームが参加し、二コートに分かれて試合開始。家族や地区の人の応援を受け、懸命に白球にアタック、熱の入った試合が繰り広げられました。決勝戦は今年も、昨年と同じように、猪



大ハッスル・プレーが続くママさんバレー大会

熊ママと頃末クラブが対戦。21-13と白熱した試合の末、猪熊ママが優勝を挙げました。▽優勝 猪熊ママ▽準優勝 頃末クラブ▽三位 古賀クラブ、上三

が優勝を争い、昨年優勝の猪熊AをBが熱戦の末破り、優勝しました。▽優勝 猪熊B(山浦、柴田、江藤、代財、宮野、力武)組▽準優勝 猪熊A、▽三位 下二

## 防ごう非行 助けよう立ち直り

—7月は「社会を明るくする運動」月間です

「社会を明るくする運動」は、わたしたち皆が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場から犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。



「社会を明るくする運動月間」の取り組みで、町内を啓発される保護司の方々

## 子供カッパの季節到来

水泳スポーツ少年団プール開き

梅雨入りで激しい雨となった六月二十九日、八小小学校プールで水泳スポーツ少年団のプール開きが行われました。この日は水温二十五度、気温も二十五度と、雨のため昨年にならぬほど冷めたいようです。でも、みんな元気一杯泳いでいました。

（リレー競技の成績）

- ▽女子1①猪熊A(3分47秒50)②秋A(3分50秒65)③伊左座A(4分20秒95)④吉田A(4分25秒66)⑤園末A(4分43秒56)
- ▽男子1①秋A(3分45秒57)②園末A(4分5秒68)③猪熊A(4分29秒41)④吉田A(4分30秒77)⑤伊左座A(5分8秒27)



水泳の季節到来に元気一杯の子供たち

### 差別のない

### 住みよい町を作りましょう！



防止宣言の町



同和問題の再認識を運動・通学者に呼びかける伊藤町長ら

差別のない住みよい町をつくりましょう。—7月は同和問題啓発運動月間。一日の早朝、町長や人権擁護委員、運動団体などの人が、駅前と同和啓発チラシを通勤者に配布し、同和問題の再認識を呼びかけました。

人間は、みんな平等なはずですが、しかし現実には結婚差別や職業差別が、今でも起こっています。これら根強い差別を排除するためには、一人一人の正しい認識と理解が必要です。ぜひ、この機会に、みんなで同和問題について考え、住みよい町、平和な世の中にしていきたいと思います。

## 全校あげて交通安全

猪熊小に「努力賞」

交通事故をなくす県民運動本部（本部長・奥田八二県知事）では、毎年、県内の学校で特に交通安全教育を積極的に実践した学校を表彰しております。

今年六月十日、福岡市の都久志会館で表彰式があり「猪熊小学校」が努力校として表彰を受けました。

同校は、五十六年から三年連続して優良賞を受けており、全国の努力賞で四回目の受表彰。PTAが街頭に立ち児童の指導を行う、交通公園を利用しての



児童、先生、PTA一掃の取り組みで受表彰した努力賞

交通安全など、文字とおり地域と学校が一体となって交通安全の取り組みをしています。



母子家庭医療証の更新

現在交付している「母子家庭等医療証」は、七月三十一日までしか使用できません。

七月二十八・三十一日

更新の申請をされる方は、七月二十八日から七月三十一日まで、次の書類を添え、役場国保年金係(窓口6番)で手続きをしてください。

- ・母子家庭等医療証
- ・健康保険証
- ・印かん

いつも正しい計量を

中元の季節です。七月十六日から八月十五日までの一カ月間は「中元期正量取引強調月間」。この間、スーパーや小売店の計量について指導を行います。正しい計量を徹底しましょう。

福祉コミュニティ講座

九州大学公開講座

地域福祉に関する基礎論の問題点を考える九州大学公開講座を開きます。

▽開講時期 七月から十月まで十日二十時間(開・閉講式を含む)

▽受講料 料金 テキスト代 千円

※受講ご希望の方は、封書に住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号を記入した書面に、返信用はがき(氏名、住所を明記)を添えて「七月十五日」までに、福岡県地域福祉振興基金(〒八二二 福岡市博多区千代二丁目二二)まで申し込んでください。

愛の献血写真コンテスト

作品募集

日本赤十字社では、福岡県献血推進運動の一環として「愛の献血写真コンテスト」の作品を募集します。

▽テーマ 愛をテーマにした献血推進に関するものから、献血への理解を深めるための献血風景など、明るくさわやかな作品

▽サイズ 白黒・カラー(サーレックスサイズから四つ切りまで)、組み写真は不可

▽応募要領 応募枚数に制限なし。作品の裏に①画題②住所③氏名④年齢⑤職業又は学校名⑥電話番号を記入してください。

▽応募締切 7月20日までに必着

▽応募先 北九州赤十字血液センター(〒八〇六 八幡西区相生町十五) 電話六三二二二二二

愛! それは献血



現況届を提出ください

児童手当・特例給付

児童手当または、特例給付を受けている人は、六月中に「現況届」を役場社会課に提出するようになっていきますが、まだ出されていない人がいます。

この現況届は、手当が受けられるかどうかを確認する大切な手続きで、この届けを出さないと、引き続いて受給できる資格があっても、六月分以後の支払いを受けることが出来なくなりま

「わが家の交通安全」

作文募集

▽テーマ 「わが家の交通安全」

家庭で交通安全について話し合った内容や方法、話し合った結果を実践していることなどについて。

▽応募期間 7月1日〜9月20日

▽応募区分

①小学校低学年(一・二年生)

元気な赤ちゃん



小田 将平くん

昭和60年7月28日生  
(秀 幸 恵)さんの長男

我が家の若大将です。ババそっくりの目、鼻、口、足etc。ママに似るところは、みんぱくを困らせるけど、休もババに似て丈夫になってほしいな。(猪熊第2みどり荘)



井上真紀子ちゃん

昭和60年7月13日生  
(義 浩 晶)さんの長女

こんにちは、わたし、まきちゃん、です。カタコトを押すことが大好き。早くアンヨが上手になりたいな。今まで病気がかりしていたけど、これからは元気な女の子でいたいです。(梅ノ木団地47棟)

- 四百字詰原稿用紙三枚(母親・一般の部は五枚)以内
- 応募するときは応募区分、住所、郵便番号、氏名、学校名、学年、学校所在地、郵便番号(母親・一般の部は年齢、職業)を記載してください。

文藝集係(母親・一般の部は〒100 東京都千代田区府が三二一一一 総務庁交通安全対策室交通安全作文集係)



# 高温多湿は

## 細菌が増える最適環境



日本の夏は高温多湿。人間にとって最適とはいかない気象条件でも、微生物や細菌が増えるには最高の条件なので

す。なかでも食中毒を引き起こす細菌は、七、八、九月に猛威をふるい、一年間に発生する食中毒の六〇七割がこの時期に集中しています。

食中毒防止の三原則は「清潔・低温・加熱と冷却」——毎日の食卓を守るためにも、家庭でできるチェック・ポイントをみてみましょう。



**清潔**  
細菌をつけない  
まな板・ふきんに注意

食中毒にならないためには、まず細菌をつけないことです。調理をする前には必ず手を洗いましょう。見た目は

きれいかもしれませんが、細菌のすみか、なのです。

また化膿した傷口やおできのなかには、食中毒の原因となる細菌がいます。指に切り傷やおできがあるときは指サックなどで傷口をふさぐようにしましょう。

また食器、まな板、ふきんなどの調理器具は、次を使うときのために熱湯消毒や天日乾燥をして、清潔にしておきましょう。

**迅速**  
調理したら  
すぐ食べる

夏は暑くて食品が腐りやすくなり、また調理の仕方にも、工夫がいる季節です。

食品を買ってきたら、常温に長く置かず、手ざやく調理しましょう。と

くに魚などの生の食品は、できるだけ早く調理することが大切です。

また食中毒を引き起こす細菌が増えるには、ある程度の時間がいります。調理したものは早く食べましょう。食べ残して時間のたつたものは、なるべく捨てるようにしてください。このことが食中毒を予防します。

**と却熱冷**  
冷やして増やさず  
熱して殺す

細菌は熱に弱いものです。六五度以上で加熱すると、たいいていの細菌は死んでしまいます。

また冷却は細菌を増やしにくくする効果があります。グンと冷凍すれば、細菌はまったく増えません。

加熱と冷却をうまく使って、細菌をよせつけないようにしましょう。

サマーシャンボ宝くじ  
七月十五日から受付

この宝くじの収益金は、福岡県市町村振興協会を通じて、災害対策と明るくい住みよい街づくり等に役立てられます。予約ご希望の方は、7月15日から7月24日までに宮製往復ハガキで「〒一〇〇東京中央郵便局留置、第一勧業銀行宝くじ部」に申込みください。

### 愛の贈もの

奮興返として次の方から社会福祉協議会にご寄付いただきました。心から故人のご冥福をお祈し、厚くお礼申し上げます。

▽吉田団地 故・梶島幸太郎殿 梶島 ワイ殿

### 事業所統計調査にご協力ください



七月一日現在を基準として、事業所統計調査が全国一斉に行われています。事業所とは、営利・非営利に関係なく、その事業を行う事により収入を得ている人、あるいは生計を立てている人がいる個々の場所をいいます。例えば、店舗・工場・会社・保育園・神社・寺院・病院・銀行・貸家業などです。七日から調査員が、あなたの事業所にお伺いして、調査票を配布しておりますので調査にご協力をお願いします。

### 同和問題講演会に参加を！

■日時 7月14日(月) 午後2時30分から  
■場所 水巻町民会館ホール  
■演題 「同和問題の今日的課題」  
■講師 全国同和教育研究協議会 副委員長 岡山直和 氏

### 涼しいみんなの学習室を開設



町では、梅ノ木団地にある学習等供用施設(町立第三保育園の二階)を夏休み期間中、学習室に開放しております。冷房設備を完備しておりますので、涼しい学習室をご利用ください。

▽使用期間 7月22日~8月31日  
・時間 8時30分~16時30分  
▽休館日 日曜日及び8月13日から8月15日まで  
▽使用料 無料

わたしたちのふるさとには、炭坑と深いつながりをもった町です。忘れ去られようとしている

炭坑の様子や炭坑にまつわる物語をみなさんに紹介していきます。

## 男一代

(8)

外を見れば二月とはいえ、すでに日はとっぴり暮れていた。善定寺の鐘が六時を知らせて久しくときおり若松浜の松風が響灘の波音とともに、吹き抜けていった。天の助けであろうか、夕方から冬には珍しく雷鳴のどろく荒模様となり、奇襲にはもってこいの雲行きとなった。

なにはともあれケンカは足もとが大事と、みんなワラジの紐をとり替えて玄関に勢ぞろいした。

「もう一度、念を押すが、大将に迷惑をかけるので、ここへは絶対に帰ってくるな」

と、享蔵がいうと、水さかずきの茶碗を玄関先まで割った。このとき見送ったのは、磯吉ただ一人であった。

外へ出るとひやりと冷たく、すでに連歌町のガス燈の下では、客を呼び込む仲居の姿もみられた。街角には、前もって知らせがあったとみえて、商店街のおもだった人が二、三人、それとなく見送っていた。郭門を出ると雲の上は満月であろうか明るく、それに南の空は製鉄所建設の夜業で雲は映え、闇に目がなれてくると戦うのに、さほど支障はなかった。

突然、稲妻が走って天を裂くような音がして雷雨となった。高塔山に落下したのである。どの店も大急ぎで表戸を閉めて、早しまいにかかった。いっぽう江崎方はどうであるかというに、大勢の子分が集っていたこともあって、吉田方をあまくみたらきらいがあった。

「どうせ敵はきたとしても、せいぜい十人たら

ず、よもや、この降る吹くなをなぐり込むことはあるまい。日が暮れて吉田がここへきて、詫びを入れるのが落ちだ」

この予測は油断となり、ひいては、その後の戦局にもひびいた。

それでも昼めしめしときは、交代で食事をすませていたが、雷雨になった夕食のときは、みんな揃っての会食、そのうえ元気づけの酒が出たので、兄貴頭の制止も聞かず、大いにメートルをあけて気炎をはく者もいた。

そこへ覚悟をした八人が、どしゃ降りの雨のなかを玄関に立った。指揮をとるのは中山豊吉、戸を開けるやいなや大声で叫んだ。

「江崎はおらぬか、吉田一家だ、約束通り出向いて参った。表へ出る」

江崎方も酔っている者がいるとはいえ、豊吉に全部はいわせなかった。ドスをひきさげた十数人が、奥からどやどやと出てきた。ところが外はどしゃ降りの雨、火鉢のそばから冷雨へ一瞬たじろく間に、八人は手はず通りにあとずさりして二手に分れた。これを見た江崎方は少人数とみてとったのか、狭い路地を押し合いへし合い、ケンカ支度もそこそこに、ドスをかざして斬ってかかった。

雨はますますひどくなり、ときおりひらめく稲妻に白刃はひらめき火花は散り、こちらが進むと敵はひき、また退くと敵は出る。みな返り血をあびて決死の形相ものすこく、八人は必死になって戦った。さて享蔵はとみれば、右手に刀、左手にピストル、その左側で手はず通り要平は長刀で戦

った。この体制は要平が危険になったとき、ピストルの援護をうけるためで、これで要平は再三危機から脱することができた。

この状況については「吉田磯吉翁伝」（昭和十六年発行）に、次の如く記されている。

「当夜は冬にしては珍らしくも大雷雨であった。午後七時ごろ、江崎へ斬り込んだ。先方にもその用意があったので、現在の明治町通りから、本町三丁目にかけて血戦乱闘が展開された。篠づく雨で灯は白く、稲妻は青くひらめき、街のなかでみな得物を手にして戦った。磯吉の妻イワ（吉田敬太郎母）また剛藏、襦袢を高くからげて、この乱闘のなかに割って入り、味方に拳銃の弾丸をくばって助ました」

ところで要平は、それまでおどしで刀を抜いたことはあったが、実戦で使ったことはなかった。しかし豊吉は剣の心得があったとみえて、出陣のときに現銀亭で次のような話をした。

「よいか、刀は手先きで斬るのではなくて体で斬るのだ、それにはまず中段にかまえて胸を張って、決して腰をひくな。初めは恐ろしさのあまり、刀だけを前に突き出して腰はうしろにあるが、この姿勢ではかえって敵から斬られる。また敵をとことん追い詰めると、かえって敵は必死になるので、殺すのが目的でないならば深追いはしないことだ」

これは、あとで現実となつてかえってきた。

(つづく)

(文) 郷土史家 柴田 貞志